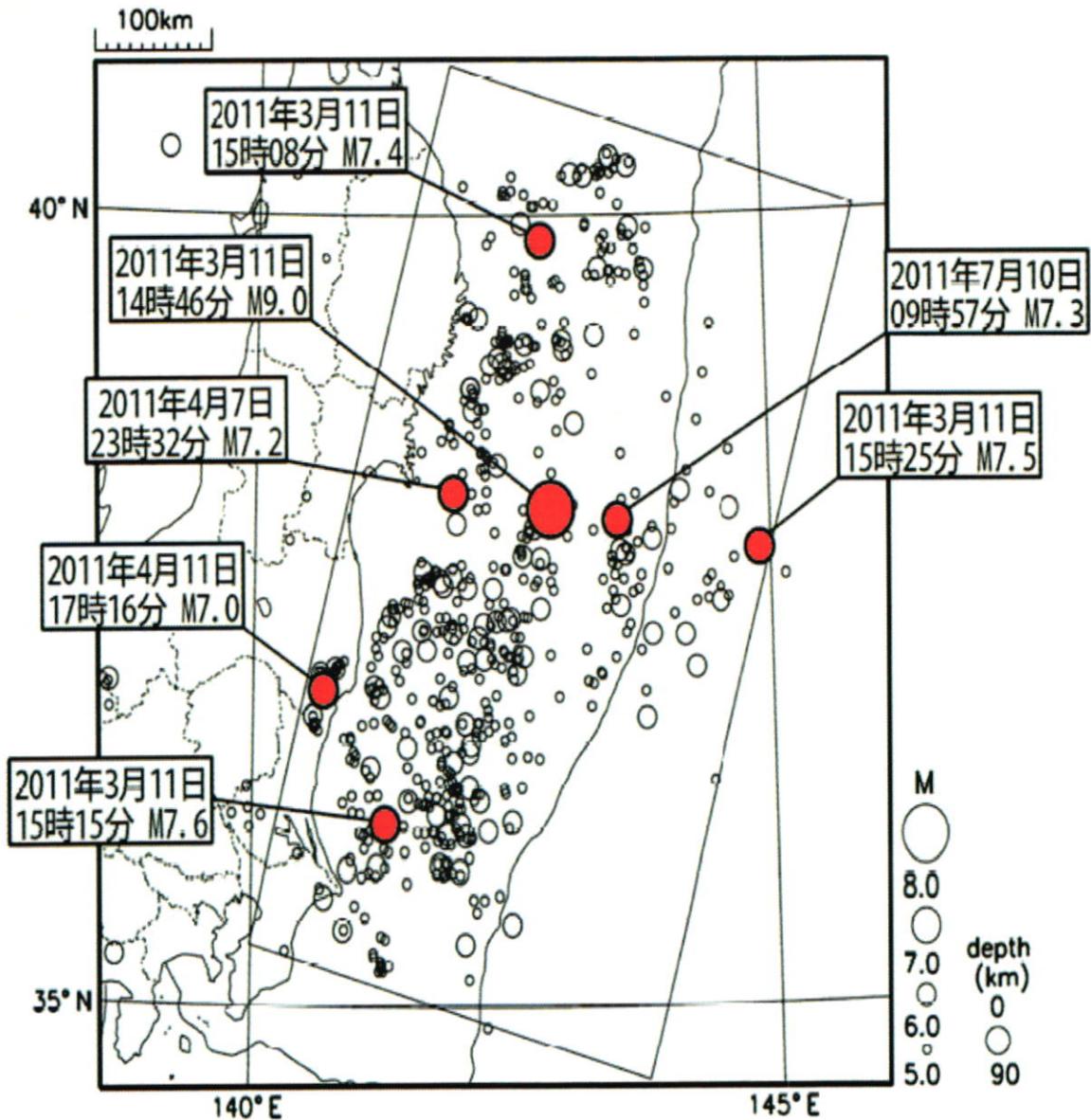


# 東日本大震災記録集

「震災そのとき事務室は・・・」



東日本大震災の本震・余震（気象庁HPより）

## 震災記録集発刊にあたって

岩手県公立学校事務長会  
会長 栗生行三

平成23年3月11日14時46分東北地方太平洋沖を震源とするマグニチュード9.0という千年に1度の大規模な地震が発生、巨大な津波が太平洋沿岸を襲いました。特にも岩手、宮城、福島 of 3県に甚大な被害をもたらしました。1年半が経過しましたが、関係機関の必死の捜索にもかかわらず、いまだ多くの行方不明者の方々がおられます。ここに改めて犠牲になられた方々に哀悼の誠を捧げますとともに被害にあわれた方々に心からお見舞い申し上げます。

震災当時は大きな揺れの後停電となったため情報が遮断され被害の様子が全く伝わりませんでした。それぞれに置かれた状況のなかで、その時、目の前のできることを精一杯やるしかなく、家族の安否も分からないまま、一切の情報がない不安な数日を暮らすこととなりました。この時、県下の高校では高田高校をはじめ、ほとんどの学校に被害が及んでいました。

開催が危ぶまれました23年度の総会が、例年より一か月遅れて6月に開催することができました。高田、宮古工、山田の3人の事務長より震災当時の様子やその後の状況を報告していただきました。全体的な被害は電気・通信の復旧によりニュースなどで知ることができましたが、被災された高校についてはなかなか様子が伝わって来ませんでした。この報告を受けようやくにして私達の仲間の状況を窺い知ることができたのでした。

先輩方が経験したことのないことを私達は経験しました。その経験は次代へ引き継ぐ責任が私達にはあります。また同じような、あるいはこれ以上の災害がこようと、二度と尊い生命を失うことのないように、仕事と生活が維持できるように復興を果たしていかなければなりません。そのための智恵を結集し支援策を定め、実現していく必要があります。私達事務長会としても自分たちの伝えるべきこととして考えていかなければなりません。

管理運営部会第一小委員会によるこの記録集が震災を忘れないためにも、二度と混乱をしないためにも、後輩たちに伝える財産として大いに役立つことになるかと信じております。この冊子の作成に当たりご協力いただきました皆様に厚く御礼を申し上げます。

最後になりますが、今回の震災に全国事務長会をはじめ多くの仲間から心温まるお見舞いを賜り衷心より御礼を申し上げますとともに、被災されました皆様の日常が一日も速く取り戻されますよう祈念し、発刊にあたっての挨拶といたします。

## 目 次

1	震災記録集発刊にあたって	
2	記録写真集	1～8
3	被災状況（高田高等学校）手記	9～13
4	各校実態調査票	
	調査票記載説明	14
	総括表	15～22
	別紙 災害対応マニュアルとの相違点・問題点	23～24
	全般での感想等	25～29
	学校別時系列による調査票（内陸）	32～80
	学校別時系列による調査票（沿岸）	81～103